



与まち道 289 号
平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 殿

与那原町長 古 堅 國 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

謹啓 仲秋の候、貴職におかれましては、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より本町の事業遂行にあたり格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のあった標記の件につきまして、
別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

沖縄県与那原町

現在の地方道路整備臨時交付金事業の拡大をお願いしたい。

事業の採択においては、B／Cが1.0以上必要であるが、道路整備の必要性が歴史的背景にある場合等、地域特性に合わせた柔軟な対応を望む。

また、地方道路整備臨時交付金事業の補助率の問題は、パッケージ内での運用次第であるが、パッケージ内の優先順位や地域特性等から柔軟な対応をお願いしたい。現在、80％を90％から100％へ。

道路特定財源の一般財源が国会で議論されているが、今後の事業推進の影響が懸念される。

今後も現行通り道路特定財源として必要な道路が確実に整備できるよう要望します。

②—1 地域の現状と抱える課題

沖縄県与那原町

○現状

1. 国道329号与那原交差点の慢性的な渋滞。
2. 国道バイパス整備が遅れており、早急な整備が望まれる。
3. 本町の交通の核となる国道の歩道幅員が狭く、段差がありしょうがい者や高齢者に優しくない歩道である。
また、道路照明が少なく、町が暗く感じる。緑化が乏しい。

○課題

1. 与那原交差点の変則的な十字路であること、また交差点間隔の短い県道240号の取り付けにより、交通渋滞が激しい。
佐敷から西原向けに右折だまりも必要なため抜本的な交差点改良が必要。
2. 既存地と埋立地を結ぶ主要幹線道路として位置づけされており、埋立地の分譲促進のためにも早急な整備が望まれる。
3. 歩道幅員を広げるとともに、段差の解消が急務である。
与那原交差点付近は、照明が少なく、緑も少ないため町のイメージが暗く感じられる。

本県においては、マイカーの普及が進み都市部における慢性的交通渋滞が大きな課題である。特に、昨年、石油価格の高騰があり、公共交通機関のあり方も問われております。

国内で唯一鉄軌道の無い本県では、多くの県民がその導入を望んでおり、本町でも戦前、与那原・那覇間を軽便鉄道が敷設されていたという実績もあります。

よって、現在、格地において導入されているLRTの普及を要望します。

国道329号バイパスが現在、西原町のマリンタウン地域で止まっており、東海岸地域への交通アクセスが分断されております。

また、与那原から糸満方面への道路も現道2車線の県道糸満与那原線でしか結ばれておらず、当該道路の交通渋滞が激しく、4車線への拡幅要望も出ているのが現状です。

よって、東海岸地域へのバイパス延伸と南部地域への新規道路整備が東海岸地域及び南部地域を結ぶ重要な骨格となる路線になりますので、実現方を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

沖縄県与那原町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	歩道のバリアフリー	高齢者やしょうがい者の歩行の安全性が高められることにより、外出の機会が増え、健康増進と町の活性化に寄与する。	
・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	信号機設置及び道路照明の増設	信号機のない交差点への信号機設置により交通事故防止の強化が図られる。また、道路照明の増設により、町が明るくなり、交通事故防止や町の防犯強化にもつながる。さらに、明るい街のイメージアップに寄与する。	
・ 地域活力の向上	国道バイパスの整備促進	国道バイパス整備により、町の交通渋滞の解消。さらに、県都那覇市から約10分圏内になるため、那覇のベッドタウンとして町の活性化が期待できる。	